

別紙2-2 定款附属事業漁業協同組合連合会役員選挙規程例新旧対照表

(傍線部分は改正部分)

改正後	現行
<p>(選挙管理者等)</p> <p>第三条 会長は、選挙ごとに理事会の決議により本人の承諾を得て正会員の中から選挙管理者一人及び選挙立会人四人を選任するものとする。</p> <p>(当選の取消し)</p> <p>第十八条 選挙後九十日以内に水産業協同組合法第二百二十五条の規定による当選の取消しがあったときは、選挙管理者は、直ちに第十四条の例により、当選人を定めなければならない。</p> <p>2 (略)</p> <p>(補欠選挙)</p> <p>第二十一条 役員の全部又は一部が欠けた場合は、前条の規定により当選人を定めることができることを除き、その不足の員数につき、補欠選挙を行わなければならない。ただし、欠員数が理事の定数の三分の一未満であるとき若しくは監事の定数の三分の二未満であるとき又は役員に欠員を生じた時が役員の任期満了前三月以内であるときは、次の総会まで補欠選挙を行わないことができる。</p> <p>(削る。)</p>	<p>(選挙管理者等)</p> <p>第三条 会長は、選挙ごとに理事会の議決により本人の承諾を得て正会員の中から選挙管理者一人及び選挙立会人四人を選任するものとする。</p> <p>(当選の取消し)</p> <p>第十八条 選挙後九十日以内に水産業協同組合法(以下「法」という。)第二百二十五条の規定による当選の取消しがあったときは、選挙管理者は、直ちに第十四条の例により、当選人を定めなければならない。</p> <p>2 (略)</p> <p>(補欠選挙)</p> <p>第二十一条 役員中欠員を生じた場合において、その欠員数が理事又は監事の定数の三分の一以上になったとき、又は理事会が必要と認めるときは、補欠選挙を行わなければならない。ただし、前条の規定により当選人を定めることができる場合を除く。</p> <p>2 前項の補欠選挙は、役員の任期の満了する日の九十日前の日以後はこれを行わない。</p>

[